「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金　分野１による助成」

空き店舗を活用した避難住民等の ビジネス・サロンを通した起業化・雇用創出支援

認定ＮＰＯ法人　ふくしまＮＰＯネットワークセンター
理事長　星野　珙二

＜事業概要＞

避難生活が長期化し、若者などの県外流出が懸念されている。当事業は、こうした県外転出者を抑え、避難住民の生活再建につなげるため、個人や仲間、グループ等での起業化やビジネス活動等の支援を目指すもので、①福島駅前での「交流サロン」の展開による出会い・交流の場の提供と、事業計画づくりやパソコンスキルアップ等の支援、②仮設住宅での「出前（絆）講座」の実施による住民への啓発と住民間の絆づくり、③ニュースレターの発行による情報発信を柱とする。

１．事業の内容

①福島駅前での「交流サロン」の展開

福島駅から 3～4 分の駅前通りに面した空き店舗（４階の約 20 坪）を借り、福島で避難生活を送る住民をはじめ、誰もが気軽に利用できるサロンの場（愛称「チョコラボ」）を提供。

・施設概要：約２０名収容、パソコン５台（ネット接続）、コピーサービス有（枚数限定）、 情報コーナー（行政・団体等のチラシや雑誌等）

◇初心者・高齢者向け「パソコン講座」の開催

就活を目指す子育てを終えた主婦や高齢者から要望が多かったことから実施。

・ワード基礎・エクセル基礎コース（６日間）

・同上パソコン夏季集中講座（12 日間）

◇事業計画相談、助成事業への申請業務支援

チョコラボ利用者からの活動内容、イベントの進め方、事業計画づくり等の相談に応じて、アドバイスや情報等を提供。

■交流サロン「チョコラボ」

▲利用者の様子

▼パソコン講座の開催

②仮設住宅での「出前（絆）講座」の実施

避難住民の多くは、福島駅前のチョコラボまではなかなか出て来れないことから、福島市内にある浪江町と飯舘村の仮設住宅からそれぞれ１ヶ所を選び、その集会所を会場に、大学教授やＮＰＯ代表者らを講師に、生活再建のための起業やビジネス活動の進め方に関する以下の６講座からなる出張講座を実施した。

・第１回講座「分かりやすい農業の六次化と加工品づくり」　講師：福島大学　西川教授

・第２回講座「事例視察研修ツアー」

福島市近郊で、今話題の個人や主婦グループによる活動の現場を見て、学び、自己啓発を図る浪江町・飯舘村合同の事例視察研修バスツアー（日帰り）を開催。視察先は「ざる菊の里（川俣町）」～「たんがら味工房（福島市立子山）～阿武隈茶屋（福島市松川町）」の３ヶ所。

・第３回講座「自分たちでできる共助の子育て・介護を考える」

講師：NPO 法人まごころサービス　須田理事長

・第４回講座「実践者からの報告・体験談に学

ぶ」　講師：高橋さん（花見山を守る会代表）、斎藤さん（手づくりマルシェ代表理事）、佐藤さん（ざる菊の里代表）

・第５回「できることから始めよう」

これまでの講座内容の総括と福島大学における復興支援活動の報告。

講師：福島大学　中井教授（うつくしまふくしま未来支援センター長）

・第６回講座「住民活動としての社会実験」

住民の希望を募り、子育て世帯の多い浪江町では「親子でのお菓子づくり教室」、高齢者の多い飯舘村では「洋菓子づくりへの挑戦」と題して実践活動を行った。

２．事業の具体的な成果

①チョコラボの利用実績等

・平成 25 年４月１日から 26 年３月 20 日までの総利用者数は 1,088 名（1 日平均約 4 名）。利用者のピークは、パソコン講座開催時の７・８月（1 日平均約５名）と１・２月（1 日平均約 6 名）。利用者は、県内外からの個人やビジネス客、市民活動団体やＮＰＯ法人関係者、避難住民の方、大学のサークルメンバーや留学生など多岐に渡る。

・パソコン講座への参加者は 18 日間で総勢 118 名（1 日平均 6.6 名）。

・事業計画についての相談や助成金申請書作成支援活動としては、市民活動団体や起業間もない法人等からの相談依頼が数件。その他、浪江町借上げ住宅自治会の依頼により、総会資料やイベントチラシのコピーサービスを提供した。

②出前（絆）講座の成果

・浪江町と飯舘村の仮設住宅での計 11 回に渡る出前（絆）講座への住民参加者は延べ 141 名（1 講座平均 12.8 名）と予定の目標を達成。

・避難住民の方が“取り組んでみたい活動”としては、農業（野菜づくり・花の栽培）からお菓子づくり、子供のための行事、手工芸品づくり、孤立化・引きこもり防止活動、特産品を活かした加工・販売など 12 ほどの活動が提案された。この中から、社会実験として「お菓子づくり教室と外国人を交えての交流会」を開催したところ、しばし、子供たちや高齢者など参加者の顔には笑顔が戻りました。（この後、浪江町の子供会行事にさっそくお菓子作り教室が取り入れられた。）

・ニュースレターは 10 回（1～10 号）発行。

■出前（絆）講座の開催

（飯舘村）

（浪江町）

■「お菓子づくり教室＆交流会」の開催

（浪江町）

（飯舘村）

３．今後の方針

・交流サロン「チョコラボ」は、継続を求める利用者等からの声が多数寄せられことから、規模を縮小して近くに移転、継続することを決定。

・出前（絆）講座で話し合われた活動については、協力頂いた福島大学、ＮＰＯ団体、経営者等との連携、協力を仰ぎながら支援活動を継続していく。（５月末には「ざる菊の鉢植え講習会」、子供向け行事としてが外国人支援員等による「英会話教室と創作英語劇」の開催等について検討中。）

連絡先
担当者氏名　深田俊雄
住所（〒960-8034）
福島市置賜町１－２９佐平ビル８階
電話　024-528-1211
FAX　024-528-1218
e-mail　center@f-npo.jp